



2025年8月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年4月9日

上場会社名 マニー株式会社
コード番号 7730 URL <https://www.mani.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役社長 (氏名) 渡部 眞也
問合せ先責任者 (役職名) 執行役常務CFO (氏名) 橋本 尚久
半期報告書提出予定日 2025年4月11日 配当支払開始予定日 2025年5月9日
決算補足説明資料作成の有無 : 有 2025年4月11日に開示予定
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年9月1日～2025年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期中間期	14,810	6.5	4,172	0.6	4,277	6.0	2,940	7.9
2024年8月期中間期	13,908	15.7	4,197	21.5	4,551	29.6	3,191	24.5

(注) 包括利益 2025年8月期中間期 3,314百万円 (13.6%) 2024年8月期中間期 3,834百万円 (60.1%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期中間期	29.85	
2024年8月期中間期	32.41	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期中間期	58,336	53,412	91.6
2024年8月期	57,177	52,330	91.5

(参考) 自己資本 2025年8月期中間期 53,412百万円 2024年8月期 52,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期		16.00		23.00	39.00
2025年8月期		16.00			
2025年8月期(予想)				23.00	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年 8月期の連結業績予想(2024年 9月 1日～2025年 8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	30,200	5.9	8,900	6.1	8,850	4.6	6,350	1.0
								64.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 社（社名）、 除外 社（社名）
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
以外の会計方針の変更：無
会計上の見積りの変更：無
修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)				
期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年8月期中間期	107,003,277 株	2024年8月期	107,003,277 株
期末自己株式数	2025年8月期中間期	8,500,674 株	2024年8月期	8,484,606 株
期中平均株式数(中間期)	2025年8月期中間期	98,497,779 株	2024年8月期中間期	98,496,973 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 当中間決算の経営成績の概況	2
(2) 財政状態及びキャッシュ・フローに関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）当中間決算の経営成績の概況

当社グループは、「世界一の品質を世界のすみずみへ」という使命を掲げ、当社グループの製品を世界中に提供し、世界の人々の幸福に貢献することを目指しております。当社グループの更なる成長に向けて、2022年8月期より中期経営計画をスタートし、営業・生産・開発の各機能におけるプラットフォームを劇的に進化・変革させることで「ビジネスモデルの変革」を行い、企業理念の実現及び「真のグローバル企業」への進化のための取り組みを進めております。

当中間連結会計期間における主な取り組みは下記の通りです。

新たな組織体制による事業運営

代表執行役社長である渡部眞也を中心とした新たなマネジメント・チームによる事業運営が本格化しました。詳細については、2025年1月9日発表の「中期経営計画の進捗と今後の経営方針について」をご参照ください。

リンク先：https://www.mani.co.jp/pdf/mg_plan_2025.pdf

中国における「マニーダイヤモンドバー」の自主回収について

当社が製造販売する「マニーダイヤモンドバー（一般的名称：歯科用ダイヤモンドバー）」につきまして、中華人民共和国規制当局に届け出ている製品登録情報の一部に記載不備があることが判明したため、当該製品について自主回収を行うことを決定しました（2025年4月9日に開示した開示文書をご参照ください）。なお、本件による製品の品質、有効性及び安全性に問題はなく、患者様の健康被害につながるおそれはないと判断しております。

また、本件は中華人民共和国規制当局への届け出に関する事項であり、他の地域での販売への影響はございません。

現在、自主回収の決定を受け、当該製品の回収及び記載不備を訂正するために変更申請を進めています。「マニーダイヤモンドバー」の内、約50%の品目で変更申請が必要となり、これらにつきましては、変更申請が認証されるまでの間、販売を停止いたします。それ以外の製品につきましては、適切な措置を講じ、販売を継続いたします。

2025年8月期連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、今後公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。なお、中華人民共和国におけるマニーダイヤモンドバーの売上高は、年間約25億円（2024年8月期実績）となります。

販売子会社 MANI MEDICAL AMERICA, INC. の活動進捗

グローバルでの事業拡大を目的として、2024年9月に新たな販売子会社MANI MEDICAL AMERICA, INC. を設立し、人員の採用、新たな代理店の開拓や流通網の整備等を進めております。地域密着型営業を推進し、北米市場での事業拡大を目指してまいります。

新製品「JIZAI Pre 020」の販売開始

中期経営計画の開発重点製品として掲げた歯科根管治療用NiTiロータリーファイル「JIZAI」¹シリーズの新製品「JIZAI Pre 020」を2024年9月より販売を開始しました。より多くの歯科医師の方々に「JIZAI」を使用していただくことを目的に、特に要望の多かった中間サイズのファイルを開発いたしました。今後、根管治療の一連のシーケンスに対応できるよう、NiTiロータリーファイルの製品ラインナップを拡充し、当社製品で治療可能な範囲を拡大してまいります。

（脚注）¹歯の歯髄と呼ばれる神経の治療法の1つである根管治療において、根管内の感染源除去に用いられる柔軟性の高いニッケルチタン製の歯科治療機器

花岡工場（スマートファクトリー）竣工

2023年10月より国内で建設を開始した花岡工場は、2025年1月末に竣工いたしました。当中間連結会計期間においては、2026年の量産開始に向けて、眼科ナイフやNiTiロータリーファイル「JIZAI」の生産体制の構築を進めております。

当中間連結会計期間における経営成績

売上高は14,810百万円（前年同期比6.5%増）の増収となりました。眼科ナイフ等のサージカル関連製品の販売が欧州、中国を中心としたアジア、北米で好調に推移したほか、アイレス針関連製品の販売が中南米等のその他の地域（主に中南米に生産拠点を持つ北米顧客向けの出荷）や中国を中心としたアジアで増加した一方、デンタル関連製品は中国市場の減速影響やダイヤバー自主出荷停止に伴う影響（後述）により低調に推移しました。生産子会社における製造原価の上昇等により売上原価は5,317百万円（同2.0%増）となり、売上総利益は9,493百万円（同9.2%増）の増益を確保しましたが、本社における前期業績に伴う決算賞与の計上に加え、人員数増加による人件費の増加を背景に販売費及び一般管理費が5,321百万円（同18.3%増）と増加し、営業利益は4,172百万円（同0.6%減）の微減となりました。営業利益の減益及び為替差益の縮小に伴い、経常利益は4,277百万円（同6.0%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は2,940百万円（同7.9%減）となり、前年同期から減益となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりです。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

	売上高		セグメント利益（営業利益）	
	百万円	前年同期比	百万円	前年同期比
サージカル関連製品	4,718	24.6%	1,643	32.1%
アイレス針関連製品	5,556	11.7%	2,068	8.1%
デンタル関連製品	4,535	△11.9%	460	△55.8%
連結合計	14,810	6.5%	4,172	△0.6%

（サージカル関連製品）

サージカル関連製品の売上高は4,718百万円（前年同期比24.6%増）、セグメント利益は1,643百万円（同32.1%増）と好調に推移しました。白内障手術で使用される眼科ナイフの需要が欧州、中国を中心としたアジア及び北米地域で拡大したことにより、前年同期から増収増益となりました。

（アイレス針関連製品）

アイレス針関連製品の売上高は5,556百万円（前年同期比11.7%増）、セグメント利益は2,068百万円（同8.1%増）となりました。製品需要の拡大を背景として、アイレス針の受注が中南米等のその他の地域（主に中南米に生産拠点を持つ北米顧客向けの出荷）及び中国を中心としたアジア地域で引き続き増加したことにより、前年同期から増収増益となりました。

（デンタル関連製品）

デンタル関連製品の売上高は4,535百万円（前年同期比11.9%減）、セグメント利益は460百万円（同55.8%減）となりました。中国市場の減速影響やダイヤバー自主出荷停止に伴う影響により、販売は大幅に減少しました。また、歯科用修復材を中心とするドイツMMG製品は欧州地域を中心に販売は低調に推移しました。売上高の減収及び販売子会社における人件費、販促費をはじめとする販売費及び一般管理費の増加により、セグメント利益は減益となりました。

※ご参考：為替レート

	前連結会計年度（2024年8月期）				当連結会計年度（2025年8月期）			
	第1 四半期 連結累計 期間	第2 四半期 連結累計 期間	第3 四半期 連結累計 期間	第4 四半期 連結累計 期間	第1 四半期 連結累計 期間	第2 四半期 連結累計 期間	第3 四半期 連結累計 期間	第4 四半期 連結累計 期間
米ドル/円 (USD/円)	149.10	147.92	149.66	150.78	149.03	151.57	-	-
ユーロ/円 (EUR/円)	159.30	159.38	161.40	162.94	161.99	161.25	-	-
人民元/円 (CNY/円)	20.47	20.45	20.68	20.84	20.88	21.00	-	-
インド ルピー/円 (INR/円)	1.79	1.78	1.80	1.81	1.77	1.78	-	-
マレーシア リング ット/円 (MYR/円)	31.95	31.35	31.78	32.28	34.36	34.47	-	-

(2) 財政状態及びキャッシュ・フローに関する説明

①財政状態の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2024年 8 月 31 日)	当中間連結会計期間末 (2025年 2 月 28 日)	増減額
総資産	57,177	58,336	1,158
流動資産	31,942	29,611	△2,331
固定資産	25,235	28,725	3,489
負債	4,846	4,924	77
純資産	52,330	53,412	1,081

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,158百万円増加し、58,336百万円となりました。これは主に、流動資産が2,331百万円減少（主に設備投資及び配当に伴う現金及び預金3,339百万円の減少）した一方、固定資産が3,489百万円増加（主にスマートファクトリー建設に伴う増加）したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ77百万円増加し、4,924百万円となりました。これは主に、その他に含まれる未払費用の減少があったものの、未払金及び未払法人税等の増加により流動負債が72百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,081百万円増加し、53,412百万円となりました。これは主に、配当金2,265百万円の支払いにより利益剰余金が減少した一方、親会社株主に帰属する中間純利益2,940百万円を計上したこと及び円安進行に伴い為替換算調整勘定が374百万円増加したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,625	3,005	△17.1%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,088	△4,579	48.2%
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,097	△2,292	9.3%
現金及び現金同等物に係る換算差額	439	333	△24.1%
現金及び現金同等物の期首残高	23,798	21,017	△11.7%
現金及び現金同等物の中間期末残高	22,677	17,485	△22.9%

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,005百万円（前年同期比 17.1%減）のキャッシュ・イン・フローとなりました。これは主に、売掛金等の営業債権を回収したものの、税金等調整前中間純利益が減少したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4,579百万円（前年同期比 48.2%増）のキャッシュ・アウト・フローとなりました。これは主に、スマートファクトリーに関連する有形固定資産の取得による支出が増加したことや定期預金の払戻による収入が減少したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,292百万円（前年同期比 9.3%増）のキャッシュ・アウト・フローとなりました。これは主に、配当金の支払額が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」のとおりです。通期の連結業績予想につきましては、2024年10月7日の「2024年8月期 決算短信」で公表いたしました数値に現時点で変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年 8 月31日)	当中間連結会計期間 (2025年 2 月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,644	18,305
受取手形	210	102
売掛金	2,710	2,560
有価証券	18	322
商品及び製品	896	734
仕掛品	3,244	3,403
原材料及び貯蔵品	2,221	2,373
その他	1,009	1,821
貸倒引当金	△14	△13
流動資産合計	31,942	29,611
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,779	14,646
機械装置及び運搬具（純額）	4,456	4,464
土地	4,427	4,410
建設仮勘定	6,290	2,371
その他（純額）	83	703
有形固定資産合計	22,669	26,597
無形固定資産		
ソフトウェア	642	619
その他	696	712
無形固定資産合計	1,338	1,331
投資その他の資産		
投資有価証券	303	44
繰延税金資産	593	436
保険積立金	214	215
その他	116	101
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,228	797
固定資産合計	25,235	28,725
資産合計	57,177	58,336

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	181	212
未払金	1,153	1,332
リース債務	39	43
未払法人税等	996	1,127
賞与引当金	401	384
その他	1,139	884
流動負債合計	3,912	3,985
固定負債		
リース債務	44	32
退職給付に係る負債	583	588
資産除去債務	233	246
その他	73	72
固定負債合計	934	939
負債合計	4,846	4,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,087	1,087
資本剰余金	1,134	1,160
利益剰余金	48,124	48,798
自己株式	△3,125	△3,118
株主資本合計	47,220	47,926
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	8
為替換算調整勘定	5,057	5,431
退職給付に係る調整累計額	42	45
その他の包括利益累計額合計	5,110	5,485
純資産合計	52,330	53,412
負債純資産合計	57,177	58,336

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 (自 2023年 9 月 1 日 至 2024年 2 月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年 9 月 1 日 至 2025年 2 月28日)
売上高	13,908	14,810
売上原価	5,213	5,317
売上総利益	8,694	9,493
販売費及び一般管理費	4,497	5,321
営業利益	4,197	4,172
営業外収益		
受取利息	115	103
投資事業組合運用益	1	7
為替差益	210	20
その他	44	56
営業外収益合計	371	187
営業外費用		
支払利息	0	1
未稼働用地関連費用	12	67
その他	4	12
営業外費用合計	18	82
経常利益	4,551	4,277
特別利益		
固定資産売却益	2	10
特別利益合計	2	10
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	3	13
その他	—	3
特別損失合計	3	16
税金等調整前中間純利益	4,550	4,271
法人税、住民税及び事業税	1,209	1,174
法人税等調整額	149	156
法人税等合計	1,358	1,330
中間純利益	3,191	2,940
親会社株主に帰属する中間純利益	3,191	2,940

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 (自 2023年 9 月 1 日 至 2024年 2 月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年 9 月 1 日 至 2025年 2 月28日)
中間純利益	3,191	2,940
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	△3
為替換算調整勘定	644	374
退職給付に係る調整額	3	2
その他の包括利益合計	642	374
中間包括利益	3,834	3,314
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	3,834	3,314

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	4,550	4,271
減価償却費	1,113	1,187
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△183	△18
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△59	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4	11
受取利息及び受取配当金	△115	△103
投資事業組合運用損益 (△は益)	△1	△13
支払利息	0	1
為替差損益 (△は益)	△270	△184
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△10
固定資産除却損	3	13
売上債権の増減額 (△は増加)	△122	246
棚卸資産の増減額 (△は増加)	8	△59
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	208	△781
仕入債務の増減額 (△は減少)	15	32
未払金の増減額 (△は減少)	△426	△519
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△109	△269
その他	39	158
小計	4,655	3,962
利息及び配当金の受取額	127	91
利息の支払額	△0	△1
法人税等の支払額	△1,156	△1,046
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,625	3,005
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△438	△214
定期預金の払戻による収入	1,251	14
有形固定資産の取得による支出	△3,803	△4,272
有形固定資産の売却による収入	7	16
無形固定資産の取得による支出	△108	△83
投資有価証券の取得による支出	—	△50
投資事業組合分配金による収入	2	10
保険積立金の積立による支出	△1	△1
その他	1	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,088	△4,579
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△29	△25
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△2,068	△2,266
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,097	△2,292
現金及び現金同等物に係る換算差額	439	333
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,120	△3,532
現金及び現金同等物の期首残高	23,798	21,017
現金及び現金同等物の中間期末残高	22,677	17,485

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間（自 2023年9月1日 至 2024年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	3,786	4,974	5,147	13,908	-	13,908
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	0	-	0	△0	-
計	3,786	4,974	5,147	13,908	△0	13,908
セグメント利益	1,244	1,912	1,041	4,197	-	4,197

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2024年9月1日 至 2025年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	4,718	5,556	4,535	14,810	-	14,810
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	0	-	0	△0	-
計	4,718	5,557	4,535	14,811	△0	14,810
セグメント利益	1,643	2,068	460	4,172	-	4,172

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

中国における「マニーダイヤバー」の自主回収について

当社が製造販売する「マニーダイヤバー（一般的名称：歯科用ダイヤモンドバー）」につきまして、中華人民共和国規制当局に届け出ている製品登録情報の一部に記載不備があることが判明したため、2025年3月14日の薬事三役協議で自主回収を決議し、経営会議に報告し、決定いたしました。また、取締役会にも報告いたしました。

なお、本件による製品の品質、有効性及び安全性に問題はなく、患者様の健康被害につながるおそれはないと判断しております。

また、本件は中華人民共和国規制当局への届け出に関する事項であり、他の地域での販売への影響はございません。

現在、自主回収の決定を受け、当該製品の回収及び記載不備を訂正するために変更申請を進めています。「マニーダイヤバー」の内、約50%の品目で変更申請が必要となり、これらにつきましては、変更申請が認証されるまでの間、販売を停止いたします。それ以外の製品につきましては、適切な措置を講じ、販売を継続いたします。

2025年8月期連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、今後公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。なお、中華人民共和国におけるマニーダイヤバーの売上高は、年間約25億円（2024年8月期実績）となります。